

教材教具	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
紙コップで大型造形	高	美術 (美術)	勇 栄二

<ねらい>

友達と協力し、自由な発想で大きな造形物を作ることができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

① 1000個から2000個の紙コップを使い、4、5人ずつの班に分かれ自由に造形を行う。紙コップの積み方は簡単に口頭で説明した。

② いろいろな場所から、幾何学的なデザインを写真に撮り、良いところ等を発表する。

③ 時間は1回で40分×2時限。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

① 練習を含め、2回行ったが、生徒からもっとしたいとの要望があった。

② 大型造形の取組が簡単に行うことができた。

② 自由に行ったため、壁、塔のような定型的な造形になった。テーマを絞って、発想を広げることも検討したい。

<その他（材料、費用、購入先等）>

材料：紙コップ7オンス 2000個 ￥4,000程度。

原実践者：大阪教育大学 講師 青木宏子先生

